

事業名	事業の目的	昨年度の主な取り組みと成果等	今後の課題、改善点等	今年度の目標、主な取り組み	備考
1. まちづくり情報誌「こもれび」	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民が練馬の魅力やまちづくりに関心を持つきっかけの提供</li> <li>区民へのセンターの周知、浸透</li> <li>取材等を通じた地域や団体等との関係づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇紙面、内容の改善、充実</li> <li>・一般区民に親しみやすい紙面、内容</li> <li>→地域特集のシリーズ化と紙面構成等刷新</li> <li>・区民の視点、関心を反映した紙面づくり</li> <li>→区民調査隊による参加型取材の実施</li> <li>◇配布等の改善(無駄減少、実購読者増)</li> <li>・新たな購読者、購読機会の開拓</li> <li>→特集地域での配布、回覧、設置場所の開拓(地域の店舗等)</li> <li>・駅配布の部数の見直し</li> <li>【成果】</li> <li>・問合せや追加配布依頼の増</li> <li>・調査隊参加者や取材先地域との関係構築</li> <li>・返品、残部の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特集におけるまちづくり情報の充実</li> <li>・区民調査隊など読者参加型の取材、制作の充実</li> <li>・愛読者(定期的購読者)を増やす</li> <li>・読者の反響を受け止める仕組みづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇紙面の充実(まちづくり的視点の強化など)</li> <li>・企画制作への専門研究員の関与増</li> <li>◇区民調査隊の充実と継続的協力関係の構築</li> <li>・取材、振り返り、企画の充実</li> <li>・「こもれび」サポーターグループの形成</li> <li>◇読者の反応の把握</li> <li>・サポーターネット等を通じたアンケート、モニタリング</li> <li>・特集地域でのヒアリング等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公社財源による事業</li> <li>・発行年3回(6月・10月・2月)</li> <li>・発行部数17,000部(5000部増)</li> <li>・区民参加による取材、作成作業</li> <li>・駅、施設等への配置、登録団体等への送付、関係町会等での回覧</li> </ul>
2. まちづくり講座(4団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりに関する情報や学習機会の提供を行い、区民のまちづくりへの関心を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇主な対象者像や企画意図の明確化</li> <li>まちづくり活動の潜在的関心層が、活動の実践に興味、関心を持つ契機となるような内容、構成を工夫。</li> <li>→活動事例の紹介を盛り込んだ企画内容</li> <li>まち歩き+講座の2部構成</li> <li>◇まちづくり団体との協働</li> <li>まちづくり団体の協力、参加を得て企画実施。</li> <li>◇新たな運営体制の検討</li> <li>多様なニーズに対応した質の高い講座内容や計画的な事業実施をはかるため、新たな運営体制への移行について4団体で検討。</li> <li>【成果】</li> <li>・参加者数や応募問合せ数、新規参加者の増。</li> <li>・活動助成団体等との協働による講座開催の実現。</li> <li>・新年度からの企画運営の新たなしくみへの移行とその基本方向についての4団体の了解。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な事業実施</li> <li>・センターが主体性を発揮する事業実施体制への移行。</li> <li>・企画運営会議の公開性、参加性の改善と会議の活性化。</li> <li>・区民のニーズや地域課題に合った企画内容の改善。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇計画的な事業実施</li> <li>・センター主催による事業実施体制への移行</li> <li>◇参加者の満足度の向上(講座内容の改善と参加者増)</li> <li>・企画意図や対象が明確な講座の企画実施</li> <li>・講座企画へのアイデア、意見等の公募</li> <li>◇企画運営会議の活性化</li> <li>・新参加者の追加や傍聴受入、協議内容の公開</li> <li>・公募によるアイデア等を基にした検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区補助金による事業。</li> <li>・今年度は上期に運営体制の移行と、区民への意見募集、それを元にした企画案の検討を行う。</li> <li>・講座開催は下期に4回程度を予定。</li> </ul>
3. 地域景観資源調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存市街地を対象とした身近な景観に関する検討手法の開発。</li> <li>・景観をテーマにしたまちづくりへの潜在的関心層の掘り起こし。</li> <li>・区の景観まちづくりの取組みとの連携の構築。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇講座の開催</li> <li>・若手研究者を招いての先進事例学習(まちづくりcaféとして開催)</li> <li>◇イベントの開催</li> <li>・まち歩き講座の開催</li> <li>・写真展(「まちを切り撮る」)の開催</li> <li>→講座受講者の作品展示</li> <li>◇区の景観計画策定への協力</li> <li>・専門研究員の委員会への出席</li> <li>・情報提供や施策案の提案</li> <li>【成果】</li> <li>・新たな普及啓発手法の開発(まちを切り撮る)</li> <li>→カメラを活用したまち歩き型講座</li> <li>・景観、まちづくりの潜在的関心層の把握</li> <li>→「まちを切り撮る」展入場者約300人</li> <li>・景観に関心ある大学関係者、区民とのネットワークの形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在策定中の景観計画・条例と当調査の関連づけ(区の景観施策との連携)の整理、検討。</li> <li>・これまで試行した取組みの整理検証。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇講座、イベント等の開催</li> <li>・まち歩きイベント、講座等の開催</li> <li>・「まちを切り撮る展」の開催</li> <li>◇センターが取り組む景観まちづくりの推進</li> <li>・景観まちづくりに係る普及啓発手法の開発</li> <li>・各地域の景観特性の調査とその成果の活用</li> <li>◇区の景観まちづくりとの連携の構築</li> <li>・「ねりまの散歩道」改訂(受託予定)</li> <li>・区の景観計画やその推進に関する検討、提案</li> <li>→協働による景観まちづくりの推進手法、制度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公社財源による事業。</li> <li>・区から「ねりまの散歩道」改訂事業を受託予定。</li> <li>・まち歩きイベントを年に2回程度予定。</li> <li>・前述、事業・イベント企画のため調査活動は通年で行う。</li> </ul>

<p>4. まちづくり活動助成</p> <p>(テーマ部門)</p>	<p>・区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会のために取り組む、区民主体のまちづくり活動を支援し活性化させる。</p> <p>・そのため、地域に根ざしたまちづくり活動の育成をはかる。</p> <p>(上記に加えて)</p> <p>・ハード整備を伴う活動により身近な生活空間の保全・改善・創造の具体例を実現化しその活性化をはかる</p> <p>・バイオネット構想に基づく区民主体のまちづくり活動を試行し普及啓発や育成支援の方策を検討、構築する。</p>	<p>◇事業の目的や課題の整理、検討 都市計画課の協力を得て、当事業の目的の精査や課題の整理を実施。</p> <p>◇H20年度助成団体の決算報告の精査 審査委員会から決算報告に一部疑義が指摘された団体に対して、決算内容の精査を行い、決算の再提出や余剰金等の返還を受けた。</p> <p>◇助成団体の取組みの紹介、情報発信 各団体の取組みを活動の現場で取材して「まち活通信瓦版」を各1500部ずつ制作し、団体及び区関係課等に配布。 団体からのイベント等開催情報をHPやサポーターネットで発信。 アトリウム公社展で当事業や助成団体等の紹介(パネル展)を実施。</p> <p>◇団体間の交流の場、機会の提供 中間報告会を各団体の活動における悩みの相談会として実施し、情報交換と交流の機会を提供。 最終報告会は「福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援事業」の報告会と同日、同一会場で初めて開催し、両事業の助成団体間の交流をはかった。</p> <p>(上記に加えて)</p> <p>◇いきものまちづくり学習会の開催 「バイオネット構想」調査研究の成果等を生かして、いきものをテーマとしたまちづくり活動についての学習会(連続講座)を実施。(テーマ部門応募団体は必ず受講とした。)</p> <p>◇助成団体の取組みへの直接的支援 空間整備や生き物等に関する専門的な知識や技術面での支援を行った。</p> <p>※これまでの成果については欄外参照</p>	<p>・新規応募団体の伸び悩み →事業の周知度の向上等</p> <p>・業務の計画的な実施 →事業実施と各団体活動の日程調整などの円滑化</p> <p>・事業目的に適った活動への誘導、支援 →地域への還元性、公開性等</p> <p>・団体間の協働や意見、経験の交換等の交流による、区民主体のまちづくり活動の広がりや質的向上</p> <p>・立ち上げ期を過ぎた団体への支援 →区やセンターとの協働のしくみや支援制度等の検討</p> <p>(上記に加えて)</p> <p>・制度設計と助成団体の活動状況の乖離</p> <p>・事業スケジュール(はばたきとのスレ、1次活動期間の延長等変則的運用による複雑化)</p> <p>・ハード整備後の空間の維持管理</p>	<p>&lt;外部発信&gt;</p> <p>◇より広い事業の周知、PR</p> <p>・区内の学校等へ広報</p> <p>・区関係課だけでなく、各課へ広報</p> <p>◇効果的なPR方法の検討 →新規応募団体へのヒアリング等</p> <p>&lt;事業運用の強化・改善&gt;</p> <p>◇団体支援の強化</p> <p>・助成団体への事業目的の浸透</p> <p>・団体の活動・成果の把握</p> <p>・助成金以外の支援の充実</p> <p>◇団体間交流の活性化</p> <p>・審査会時の交流イベント等の工夫</p> <p>◇事業制度運用の改訂・検討</p> <p>・事業の検証 →年次報告書の作成</p> <p>・募集要項、応募・報告書式等の改訂</p> <p>・事業制度改訂の検討</p> <p>(上記に加えて)</p> <p>◇テーマ部門の制度改正等</p> <p>・専門家派遣の導入、事業スケジュール見直し 等</p> <p>※公社におけるセンターのみどりに関する取り組み等と関連づけて検討</p>	<p>・公社財源による事業。</p> <p>・今年度は5/10に募集締切、応募15団体(うち新規3)</p> <p>・審査会は6/13(日)開催予定。</p> <p>・中間報告会は、11月上旬、最終報告会は、3月下旬に開催予定。</p> <p>・審査会の経過より必要に応じてスキルアップ講座を実施する。</p> <p>・町会掲示板へのポスター掲示、区民利用施設への広報は今年度も継続して行う。</p>
------------------------------------	---	---	--	---	--

※まちづくり活動助成事業のこれまでの成果について

・H18年度から延べ56団体に対して助成。区民主体の多様なまちづくり活動の受け皿として機能し、活性化に一定の役割を果たした。

・まちづくり条例の取り組みへ活動が進化した例(H20年度・みんなの広場住民協議会)もあり、実効性の高い活動展開が見られた。

・センター事業の特色である当事業を通じて、区内各所の多様なまちづくり団体と関係が構築できたことで、センター事業を区民や団体と協力、連携して行えるようになり、センター事業の質の向上や、センター構想の理念の実現化につながっている。

・ひいては、センターはこの事業を通じて、まちづくり活動や身近な生活環境等に対する区民の立場からの興味、関心、問題意識等を把握でき、区民のニーズを反映した事業の企画、実施に役立てている。

事業名	事業の目的	昨年度の主な取り組みと成果等	今後の課題、改善点等	今年度の目標、主な取り組み	備考
<p>1. 高野台5丁目中央地区 「住みよいまちづくりを考える会」 (総合型・準備会)</p>	<p>・戸建住宅中心地区におけるマンション計画を契機とした住みよいまちづくりの実現に向けた、総合型地区まちづくり準備会に対する支援。 ・まちづくり条例の活用による、地区計画等の公的ルールの方策。</p>	<p>◇定例会の開催支援 ・定例会への出席。 ・専門家派遣(2回)。 ・ニュース(月刊)の編集制作支援。 ・会議資料(専門的事項の解説等)の作成。</p> <p>◇参考事例見学会の開催支援 ・三原台二丁目地区地区計画の見学。</p> <p>◇開発事業者等に対する案内 ・窓口、電話による問合せへの対応し、まちづくりの背景や状況、今後の見通し等について説明。</p> <p>◇地区計画案の検討 ・定例会での議論を集約した検討案の作成。 ・地区計画案の内容や進め方(条例手続等)について区(都市計画課、まちづくり推進調整課)と継続的に協議。</p> <p>【成果】 ・定例会が定着し、準備会のコアメンバーの定着化と、まちづくり条例や地区計画に対する理解を深めることができた。 ・区側の対応と連携した事業者等への窓口対応の体制ができた。</p>	<p>・検討地区全体でのまちづくりへの関心、問題意識を高め、準備会の取組みや地区計画等ルールづくりへの支持基盤を築き合意形成を進めること。 ・地区計画に慎重な住民の理解を得ること。 ・大規模土地所有者の意向把握とまちづくりへの合意形成をはかること。 ・準備会から協議会の認定を受けること。 ・地区計画等の検討中に発生する大規模開発等に対して、地区として対応できる方策の検討。</p>	<p>◇総合型地区まちづくり協議会の認定 ・地区内での合意形成支援 ・協議会の認定に係る手続の支援 ・協議会の認定に係る準備会と区との協議、調整の支援</p> <p>◇「地区まちづくりの理念」の報告 ・「地区まちづくりの理念」(まちづくり憲章)案の作成への支援 ・同案の地区内での合意形成支援 ・「地区まちづくりの理念」の報告に係る準備会(協議会)と区との協議、調整の支援</p> <p>◇地区計画の住民提案の取組み ・地区計画案の策定支援 ・同案に係る準備会(協議会)と区との協議、調整の支援 ・同案の地区内での合意形成支援</p>	<p>・約13ha、670世帯。H20.5.準備会登録。 ・大規模アドバイザー派遣を契機として、まちづくり条例を活用したまちづくりの取組みへ発展。 ・まちづくりの契機となった大規模マンション計画は中止。予定地は未利用地のまま開発事業者が所有中。今後の活用予定は不明。</p>
<p>2. 武蔵関建築協定地区 「武蔵関・環境を守る会」 (総合型・協議会)</p>	<p>・戸建住宅中心地区における住民主体のルールづくり・運営のしくみづくり ・まちづくり条例、建築協定を活用した住民主体のまちづくりの継承発展</p>	<p>◇まちづくり検討会の開催支援 ・検討会への出席。 ・専門家派遣(5回)。 ・まちづくりニュースの編集制作支援。 ・会議資料(計画案、参考資料等)の作成。</p> <p>◇総合型地区まちづくり協議会の認定申請支援 ・アンケート実施支援。 ・申請書類の作成や申請に係る区との事前協議等。</p> <p>◇総合型地区まちづくり計画案の検討 ・同計画案の作成及び区との調整、協議。 ・条例に基づく手続等の支援及び区との調整、協議。 ・建築協定及び地区まちづくり計画の運用ガイド案の作成及び区との調整、協議。</p> <p>【成果】 ・総合型地区まちづくり協議会の認定(第1号)</p>	<p>・計画案の提案手続に向けた地区住民の合意形成。 ・住民主体での建築協定・地区まちづくり計画の運用への支援。</p>	<p>◇総合型地区まちづくり計画の認定 ・計画案に係る協議会と区との協議、調整の支援 ・同案の地区内での合意形成支援 ・同案の認定に係る手続の支援</p> <p>◇協議会の計画運用の取組みへの支援 ・計画の周知への支援 ・計画の運用に係る助言や専門家の派遣等 ・区との連絡、調整等の支援 ・主体的なコミュニティづくり、まちづくり活動の誘発、支援</p>	<p>・約2.9ha、110世帯。H21.11協議会認定。建築協定第1号地区(S47~)。 ・敷地の細分化の防止についての区への相談と、センターによるみどりに関する調査を契機に、まちづくり条例による計画づくりへ。 ・今年度は建築協定の中間更新時期にあたり、協定の継続についてのアンケート実施(5~6月)後に計画案の合意形成、認定手続に入る予定。</p>
<p>3. 石神井町八丁目公園 「公園づくりと公園育ての会」 (施設管理型・協議会)</p>	<p>・地域住民主体の公園利用・運営・管理の実現に向けた取り組みに対する支援 ・まちづくり条例を活用した住民主体の公共空間の管理運営の実現</p>	<p>◇協議会の取り組みへの支援 ・「みんなの広場住民協議会」「公園育て連絡会準備会」への出席。 ・協議会と施設管理者との協議への出席。 ・会議資料(計画案、参考資料等)の作成。 ・まちづくり条例に基づく助成金による支援。</p> <p>◇施設管理型まちづくり計画案の検討 ・同計画案の作成及び区との調整、協議。 ・条例に基づく手続等の支援及び区との調整、協議。</p> <p>【成果】 ・公園自主管理委員会の立上げと、区との公園管理協定の締結</p>	<p>・計画案の提案手続に向けた地区住民の合意形成。 ・住民主体での施設管理型まちづくり計画の運用への支援。</p>	<p>◇施設管理型まちづくり計画の認定 ・計画案に係る協議会と区との協議、調整の支援 ・同案の地区内での合意形成支援 ・同案の認定に係る手続の支援</p> <p>◇協議会の計画運用の取組みへの支援 ・計画の周知への支援 ・計画の運用に係る助言や専門家の派遣等 ・区との連絡、調整等の支援 ・主体的なコミュニティづくり、まちづくり活動の誘発、支援</p>	<p>・石神井町八丁目公園(0.37ha、都市計画公園)。 ・今年4月に開園。計画認定後にサッカーゴールの設置予定。 ・まちづくり講座、まちづくり活動助成を契機に、まちづくり条例による計画づくりへ。</p>

<p>4. 農地と共生したまちづくり</p>	<p>・農地と住宅の相隣関係など、良好な営農環境と都市環境が共生したまちづくりをしていくための実践的な方策の検討。</p>	<p>◇まちづくりの具体的検討候補地区の抽出          ・農家への農地保全や相続対策等に係る取組み意向の調査(全戸アンケート)          ・まちづくりの具体的検討の候補地区の抽出整理</p> <p>◇農地共生まちづくりに資する制度・事業手法の実効性向上に係る検討          ・既存の制度、事業手法の活用可能性の精査          ・モデルまちづくり案に関する検証          ・提案していくメニューの整理</p> <p>◇農地共生まちづくりを推進するコーディネート業務の確立          ・コーディネート業務の内容や担い手の検討</p> <p>【成果】          ・まちづくりに関心ある農家(まちづくりの具体的検討のパートナー候補)の把握</p>	<p>・モデルまちづくり案のリアリティを高める          ・農地と共生したまちづくり「コーディネート業務ネットワーク」の構築          ・先行モデルまちづくり地区候補地の選定          ・農地共生に関連するテーマで活動するまちづくり団体との関係づくり          ・研究成果の施策への反映</p>	<p>調査研究事業から実地事業への移行をめざして、主に以下の取組みを行う。</p> <p>◇農業者等への普及啓発、相談          ・パンフの制作、配布          ・JAや区の協力を得て、農業者向けセミナーの開催          ・農業者に対するまちづくり相談</p> <p>◇先行モデルまちづくり案の検討          ・協力農家をモデルとした先行モデルまちづくり案の検討          ・上記モデル案の推進手法、体制の検討</p> <p>◇研究成果のまちづくり施策への提案、反映の検討          ・区の都市農地保全の取組みへの提案、協力          ・面的なまちづくりへの展開方策の検討</p>	<p>・H19年度から3カ年の調査研究事業として、都市計画課から受託。          ・今年度以降は公社・センターの自主的取り組みとして、調査研究事業から実践的なまちづくりの取り組みへの移行をはかる。</p>
------------------------	---	---	---	--	--